

使いやすい！ 教えやすい！ 学びやすい！

三訂 介護福祉士養成 実務者研修テキスト

介護職員関係養成研修テキスト作成委員会（委員長 京極高宣〈国立社会保障・人口問題研究所名誉所長〉）

1 国が示す通知の趣旨を踏まえた内容に準拠

- ・平成30年8月7日に示された新しいカリキュラムに準拠した内容
- ・アセスメント力の向上と多職種連携・チームケアの充実を重視
- ・各種制度改正に対応した内容

2 根拠に基づく「考えるケア」を実践できる 介護職育成に最適なテキスト

- ・各章毎に学習の要点(ポイント解説)と重要事項の確認ができる
- ・生活支援技術にイラストを豊富に追加し、分かりやすく解説
- ・生活支援技術、医療的ケアはオンライン動画でより学びやすい
- ・介護職としての視点の明確化と実践力の向上が図れる
- ・介護福祉士に期待される「自立に向けた生活支援」を駆使できる人材育成を目指せる

3 介護現場でも継続して活用できる充実した内容

網羅性と詳しい解説により、研修修了後の国家試験対策として、介護現場の実務の手引書としても十分に役立つ内容

4 講義・演習・講座運営を充実のサービスでサポート

テキストご採用の場合、通信教育に対応した『学習課題』、『スクーリング用ワークブック』、『eラーニングシステム』などをご提供

5 新規に実務者研修を開講される事業者様へ

申請に必要な『介護福祉士実務者養成施設設置計画書の記載例』などをご提供

お求めやすい価格設定

※消費税10%込み
の価格です。

●全9巻セット(無資格者向け)	14,300円(税込)
●全7巻セット(ヘルパー2級修了者向け)	11,000円(税込)
●全8巻セット(初任者研修修了者向け)	12,980円(税込)
●全2巻セット(ヘルパー1級修了者向け)	4,180円(税込)
●第1～8巻 単品購入	各1,980円(税込)
●第9巻(喀痰吸引等研修カリキュラム対応) 単品購入	2,420円(税込)

2024年6月
発行！



セット内容 (B5判・無資格者用全9巻セット)

- 第1巻 人間の尊厳と自立/社会の理解 I・II
- 第2巻 介護の基本 I・II
- 第3巻 コミュニケーション技術
- 第4巻 生活支援技術 I・II 動画
- 第5巻 介護過程 I・II・III
- 第6巻 こころとからだのしくみ I・II
- 第7巻 発達と老化の理解 I・II /
認知症の理解 I・II
- 第8巻 障害の理解 I・II
- 第9巻 医療的ケア 動画
介護職員等による喀痰吸引・経管栄養



HP書籍紹介



オンラインショップ



メルマガ登録

スマートフォンで読み取ってください

お申込み・お問合せ

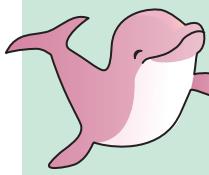
一般財団法人 長寿社会開発センター 出版管理部

〒105-8446 東京都港区西新橋3-3-1 KDX西新橋ビル6F

TEL 03-5470-6760 (営業時間: 平日9時～17時半、土日祝休み)

E-Mail: shuppan@nenrin.or.jp Web: <https://nenrin.or.jp/>

〈テキストの特色〉



より使いやすく!

新しくなった長寿社会開発センターの実務者研修テキストには、こんな特色があります!

第4節

ボディメカニクスの原則

1. ボディメカニクスとは

① ボディメカニクスについて

介護は人を相手に行う行為であり、利用者・介護職の双方にとって、身体の安全を保つための行動をすることが何よりも大切です。そのためには、人体の基本的な構造や身体運動のしくみなどとどうぞ、地域で生きてするうえで決して無視してはならない、重力・摩擦・慣性などの力学的な力の影響も含め、しっかりと理解しておくことが必要です。

学ぶボディメカニクスとは、人の骨格・関節・筋肉・筋系系などの構造の相互関係と、身体運動に作用する重力・摩擦・慣性などの力学的な力の影響を理解するための知識です。また、骨格にしたがって身体運動のメカニズムのことで、介護技術にも幅広く応用できます。例えば、利用者の身体を小さくまとめて支持基底面を狭くしたり、歩くときに足を大きく動かして歩くなど、介護職の負担を軽減する方法なども含まれます。

介護は必要な力を利用者に効率よく伝えることができるなど、介護現場では当たり前のよう実践されていることがあります。いずれもボディメカニクスの原則が活用されている典型的な例といつてもよいでしょう。

ボディメカニクスの理解を深め、介護の場面で実践的に活用できるようにしましょう。

② ボディメカニクスの7原則について

介護は、人の身体を押す・引く・持ち上げる・ずらす・回転させるなどの力学的な力を活用して行われています。介護技術の整備状況や介護技術の習熟度によっては、介護職の負担を軽減するための負担が大きくなります。

介護技術に幅広く応用されているボディメカニクスの7原則をしっかりと理解して、介護負担の軽減に努めることができます。

①支持基底面を広くとる

②重心の位置を低くする

③重心の移動をスムーズにする

④重心を近づける

⑤この原理を使う

介護福祉士
国家試験で出題
された内容を
で表示

用語も
丁寧に解説

130 第4節 ボディメカニクスの原則

この他にも…



参照頁を「ゾウマーク」で表示
関連事項は「コラム」で補足
……など工夫が多数!



第2章 学習の要点 (ポイント解説)

□重要事項をチェックしましょう

第1節 地域共生社会とは

□ 地域共生社会とは

人口減少、家族・施設社会の変容などに適応するため、子ども・高齢者・障害者など、すべての人々が地域、暮らし、生きがいをともにつくり、高めあうことができるとともに、ええ手帳と受け手帳に分かれのではなく、地域のあらゆる住民が地域の公のサービスと協働して助け合いながら暮らすことのできるしくみを構築することをいいます。

□ 取組みの推進

社会福祉法、介護保険法、障害者総合支援法、児童福祉法が改正され、地域共生社会の実現に向けた地域づくり・包括的な支援体制の整備が図られるとともに、介護保険と障害者同一の事業所でサービスを受けやすくなるために共生型サービスが位置づけられました。

□ 社会福祉等の改正

2020(令和2)年に実現した「地域共生社会の実現のための社会福祉等の改正」により、地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応するため、地域をまたぐ支援体制を構築するため、重層的支援体制整備事業が創設されました。

第2節 地域包括ケアシステム

□ 地域包括ケアシステムとは

地域包括ケアシステムとは、地域の実情に応じて、高齢者が可能な限り自宅で、その有する能力に応じて自立した日常生活を営むことができるよう、介護・介護・介護予防・住まいおよび自立した日常生活の支援が包括的に確保される体制のことです。

□ 地域包括ケアシステムの考え方

地域を支える負担を誰が担うのかについては、「自助・互助・共助・公助」を区分し、それぞれの地域バランスのなかで地域包括ケアシステムを構築することが必要です。自助・互助の積極的な取組みは、結果として共助としての介護保険制度の持続可能性を高めるものです。

章ごとに
ポイント解説を
設けて振り返り

第2章 地域共生社会の実現に向けた制度や施策 153

※ページ画像等はイメージです。実物とは異なる場合があります。



「オンライン映像教材」に リニューアル!



より学びやすく!

第4巻「生活支援技術」第9巻「医療的ケア」はオンライン映像(QRコード)追加により学習しやすくなりました。



「eラーニング」「ワークブック」などサポート教材を刷新!



より教えやすく!

面接授業向け「ワークブック」と「講師マニュアル」、通信学習向け「eラーニング」等、周辺サービスが充実!

〈テキストのご注文方法〉

●ご注文は、オンラインショップ
「長寿Bookstore」よりお願いします

●ご注文方法 <https://nenrin.shop/>

PC・スマホで
『長寿Bookstore』
を検索
(右のQRコードから)

『商品一覧』から
ご希望商品の
画像を選択

数量を入力し、
『カートに入れる』
または
『すぐに購入する』

お届け先などの
『お客様情報』を
入力し、購入完了

●QRコードはこちら

長寿Bookstore

初めてご利用の
お客様



スマートフォンで読み取ってください